※令和４年度以降入学生用

学校番号	２１５

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現形式の特性、形や色彩などの造形要素の働きを考え、創造的な表現の構想を練る「デザイン」を中心に、感性や想像力を働かせて表現する「絵画」、美術作品のよさや美しさを創造的に味わう「鑑賞」の各分野について学習します。
・一人ひとり、見えているもの、思いや感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などに着目し、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。それぞれの見方を「鑑賞」で共有すると、更に学習内容が広がり、深まっていきます。

２　学習の到達目標

美術の幅広い活動を通して、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	多様な表現方法や美術の働きに興味・関心を持ち、必要な知識を身につける。 創造的な美術の表現をするための技能を習得する。	感性や想像力を働かせて考えたり、他者と意見交換したり調べたりしたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、意図に応じて、表現方法を工夫している。創造的な表現の構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わう。主体的に表現や鑑賞に取り組もうとする。美術作品などの表現の工夫や美術文化などを率先して調べ、そのよさや美しさを創造的に味わっている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	美術ってなんだろう？	【鑑賞】【絵画・彫刻】 ・オリエンテーション 教科書等を鑑賞し、多様な表現形式について学ぶ。「美術Ⅰ」の学習イメージを持つ。 ・模写 教科書の図版から一点選び模写する。	a:作品のよさや時代背景、美術の歴史を学び、美術作品などの良さを感じ取り、美術の働きや文化について理解する。特徴をよく捉えながら写し取る。 b: 模写の対象となる図版を意図的に選び、模写を通じて追体験している。 c: 美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を高めている。作者の表現意図などを深く創造的に味わう。	スケッチ 作品	製作途中の作品 完成作品	スケッチ 学習活動の様子 作品
	立体感のあるロゴデザイン	【デザイン】 ・線遠近法 ・色彩構成 ケント紙にアクリル絵の具で着色する。 線遠近法を駆使し、立体感のあるロゴのレタリングを、構成・配色・明度・彩度・色相等を工夫し表現する。	a: 線遠近法を理解しており、目的や意図に応じて、自在に使いこなすことができている。アクリル絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、使いこなすことができている。 b:条件を踏まえて、美しさを意識しながら、主題を的確に表現し、レタリングの書体や立体感を表わす色彩の働きを考えて、創造的な表現の構想を練っている。 c: 線遠近法を使用して文字を描くことに関心を持ち、主体的に学習活動に取り組んだ。	練習プリント 作品	下書き～完成までの作品 完成作品	練習プリント 学習活動の様子 作品
2学期	日本の美術を知る	【鑑賞】 ・絵巻物、障壁画、浮世絵などの作品から、班で1作品選び、表現の特徴や工夫について話し合い、まとめる。 ・作品について調べる。 ・班ごとに発表する。	a: 日本の伝統的な美術の表現の特質や様式、主題や表現方法を知り、日本及び諸外国の美術文化の違いとその理由、またそれぞれの美術文化の変遷についても理解を深めている。 b: なぜその作品を選んだのか、各自の考えをまとめ、班で意見交換をしている。 c: 班員のそれぞれが主体となり鑑賞活動に取り組もうとする。自分の役割を理解し主体的かつ積極的に参画している。	ワークシート 発表内容	ワークシート スライドなど	ワークシート 学習活動の様子 発表の様子

※令和４年度以降入学生用

	スクラッチグラスの制作	【デザイン】【鑑賞】 ・ハッチングの練習 身近なものを鉛筆デッサンする。 ・アイデアスケッチ スクラッチの特性を生かすことを考える。 ・制作 スクラッチグラスの制作 ・相互鑑賞	a: 意図に応じて素材や用具の特性を生かし、様々な描線による表現ができる。 b: 画面を削って描くという表現形式の特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。とりわけ黒地の面をどのように生かすかに、感性や想像力を働かせている。 c: 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に主題を生成し構想を練っている。	ワークシート 作品	アイデアスケッチ 作品	アイデアスケッチ 学習活動の様子 作品
3学期	スーパーリアルに顔を描く	【絵画】【鑑賞】 ・自分や友人、その他の人物の顔写真を元に、主題を生成する。 ・主題を基に構想を練る。 ・主題を追及し、表現を深める。 ・他者の作品から、作者の主題、意図、創造的な表現の工夫などを感じ取り、理解する。	a: 対象をよく観察し人物を、あたかも実物が存在するかのように生き生きと表現している。精密に描くという技能のメカニズムを究明し、体得している。 b:対象をじっくり観察して忠実に描くという目的に従い、色彩、構成などを工夫して創造的な表現の構想を練っている。 c:材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	写真 (補助線の引き方) 作品	作品	学習活動の様子 作品
	ウッドシートでペン立てを作ろう	【デザイン】【鑑賞】 ・アイデアスケッチ ペン立てを組み立て、柄域を考えながら、アイデアスケッチをする。 ・ウッドシート7色の形、切り方、配置などを検討する。 ・制作 トレースの有無など、各自必要に応じて判断し、すすめる。 ・相互鑑賞	a: ウッドシートの特性を生かし、はさみ・カッターの使い分けや使用方法なども考慮しながら、計画的に表現している。 b: ペン立ての形状に合う効果的な表現方法を工夫し、素材の持つ特性、形や色彩などの働きを考えて表現の構想を練っている。 c: 目的や機能、用途、美しさを基に考えて表現することに、興味・関心を持っている。表現や鑑賞の活動に主体的に取り組もうとしている。	アイデアスケッチ トレースの技術 作品	アイデアスケッチ 作品	学習活動の様子 アイデアスケッチ 作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度